

デジタル資格者証の活用方法

デジタル資格者証は二次元コードを読み込むことで有効性を確認できます。
紙の提出が必要な場合は印刷して送付も可能です。

1. 対面でデジタル資格者証を提示

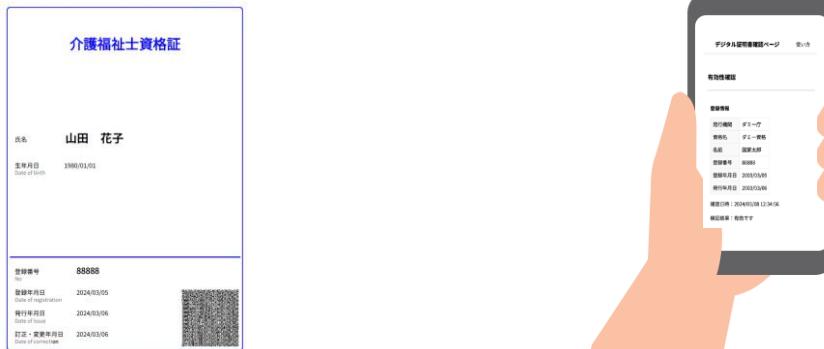
(目視確認もスマホ読み取りも確認可能)



2. メールで資格者証データを添付し送付



3. 印刷した資格者証を対面で提出



4. 印刷した資格者証を郵送で提出



【参考】デジタル資格者証の検証の流れ

資格保有者

1. デジタル資格者証の提示

- ①二次元コードを提示

二次元コードを検証者へ提示



2. 検証の実施

- ①二次元コードの読み取

スマートフォンのカメラ等で読み取

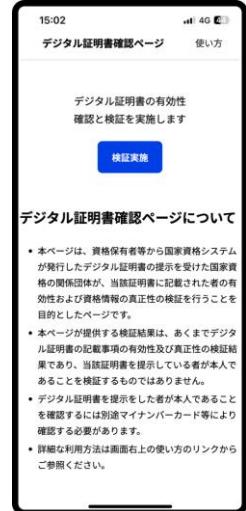


提出を受けた側(検証者)

2. 検証の実施

- ②検証開始

「検証実施」を押下



3. 検証結果の確認

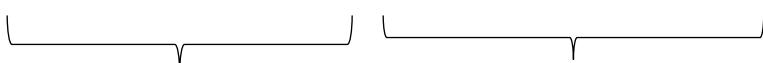
- ①検証結果の確認

有効性を確認



<二次元コードに含まれる情報>

<https://dqcv.nqs.go.jp/w/?c=XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>



デジタル証明書確認ページのURL 登録情報（署名済み） をBase64エンコードした値

- ↓登録情報（署名済み）はCOSE形式で次の2つから成る
① 資格保有者の登録情報やデジタル資格者証の識別情報
② 登録情報に対する署名値

※ COSE形式: CBORを用いた署名付きデータのデータフォーマット
※ CBOR: 構造化されたデータを記述するためバイナリ形式のデータフォーマット

<検証の流れ>

- 検証の際は、二次元コード読み取り先のURLのドメインが dqcv.nqs.go.jp であることを確認
- ②を用いて検証することで、①の真正性を確認 (※)
- ①の登録情報を表示
- 検証者は表示された検証結果のステータスを確認する
 - ・有効な場合：「有効です」
 - ・有効でない場合：「無効です」と表記の上、() 内に検証結果が無効となった理由を表示

※検証時の処理

- ✓ ①が改竄されていないことの確認
- ✓ ①の有効性(取消・一時停止・削除されていないか)を国家資格等情報連携・活用システムに照会
- ✓ 署名付与に使用した証明書が失効していないことを認証局に照会